

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月17日	(水)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア			2018/9/20	2018/9/20	2018/9/20			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/8/27	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta - \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	ケーブル類	B	08	D	B	1 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無	
2	不燃物その他	B	10	D	B	2 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無	
3	塩化ビニール類	B	05	D	B	2 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0015
				2018/9/20
調整後保管日時		2018年10月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	不燃物その他②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/17 8:20	2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	塩化ビニール類(→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 8:00	1 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H5タンクエリア					2018/9/21	2018/9/21	2018/9/21
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/9/21	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	コンクリートガラ	B	02	W	A	36 m <sup>3</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
大型6台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0025
				2018/9/21
調整後保管日時		2018年10月17日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 8:35	6 m <sup>3</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 9:20	6 m <sup>3</sup>			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 10:15	5 m <sup>3</sup>			1
	1	4	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 12:35	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月18日	(木)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア			2018/9/21	2018/9/21	2018/9/21				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL						
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/9/20	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号				
							1F-ICWBL-14				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β-α 汚染の有無				
							β+γ 線量率				
メ モ	1	金属ガラ	B	01	D	B	8 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
大型2台											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0027
				2018/9/21
調整後保管日時		2018年10月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/18 9:05	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H5タンクエリア			2018/9/25	2018/9/25	2018/9/25				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/9/21	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14			
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	W	A	36 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
メ モ	大型6台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0042
				2018/9/25
調整後保管日時		2018年10月19日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 9:05	6 m <sup>2</sup>			1
1	2	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 9:10	6 m <sup>2</sup>			1
1	3	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 9:25	6 m <sup>2</sup>			1
1	4	4	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 9:30	6 m <sup>2</sup>			1
1	5	5	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 9:45	6 m <sup>2</sup>			1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6					m <sup>2</sup>							
	7					m <sup>2</sup>							
	8					m <sup>2</sup>							
	9					m <sup>2</sup>							
	10					m <sup>2</sup>							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	10	—	0042

[illegible]

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	9:30		承認	審査	作成
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所							2018/9/26	2018/9/26
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/9/13	測定者			測定器名	ICW(BL)		管理番号
							F1-ICWBL-72		
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
1	不燃物その他(ガスボンベ)	B	10	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	金属ガラ	B	01	D	B	3.5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	機器類・制御盤類	B	03	D	B	0.1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0050
				2018/9/26
調整後保管日時		2018年10月17日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(ガスボンベ) ⑪	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/10/17 9:55	0.5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	金属ガラ ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/10/17 9:55	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機SFP循環冷却設備計装品点検手入工事(H30)								
	発生場所	1,2号機中央制御室および4号機T/B 2階(GT-24中央)			2018/10/3	2018/10/3	2018/10/3			
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/9/26	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-7		
G	No.	※カテゴリ				測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③	物 量					
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.4 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	4 μSv/h	無
	2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A	02	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	4 μSv/h	無
	3	紙・ウエス類	A	01	W	B	0.1 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	4 μSv/h	無
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メ モ	巡回回収場所: GT-24中央( 企業棟)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0121
				2018/10/3
調整後保管日時		2018年10月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
メ モ	1	1	紙・ウエス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 11:00	0.7 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 11:00	2 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機SFP循環冷却設備計装品点検手入工事(H30)								
	発生場所	1,2号機中央制御室および4号機T/B 2階(GT-24中央)								
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/9/28	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号			
							F1-ICWBL-7			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	紙・ウエス類	A	01	W	B	0.1 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	7 μSv/h	無	
2	難燃シート類	C	02	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	5 μSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
巡回回収場所: GT-24中央( 企業棟)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0122
				2018/10/3
調整後保管日時		2018年10月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	難燃シート類	2 μSv/h	6 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 11:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1～4号機SFP循環冷却設備計装品点検手入工事(H30)									
	発生場所	1,2号機中央制御室および4号機T/B 2階(GT-24中央)			2018/10/3	2018/10/3	2018/10/3				
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/28	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-7			
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	4 μSv/h	無	
	2	ゴム類	C	01	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	4 μSv/h	無	
	3	難燃シート類	C	02	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	4 μSv/h	無	
	4	難燃物その他	C	04	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	4 μSv/h	無	
メ モ	5					m <sup>2</sup>					
	巡回回収場所:GT-24中央( 企業棟)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0123
				2018/10/3
調整後保管日時		2018年10月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-15B
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 10:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 10:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0001

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	11:30	承認	審査	作成														
	作業件名	1～4号機SFP循環冷却設備計装品点検手入工事(H30)																			
	発生場所	1,2号機中央制御室および4号機T/B 2階			2018/10/3	2018/10/3	2018/10/3														
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ		監理員		TEL															
	元請会社			担当者		TEL															
メ モ	線量測定年月日	2018/9/28	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-7													
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
			①	②	③																
			1	塩化ビニール類	B						05	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無	
			2	保温材	B						06	D	A	0.1	m <sup>2</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無	
3	ケーブル類	B	08	D	A	0.1	m <sup>2</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無									
4	不燃物その他	B	10	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無									
5	金属がら	B	01	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無									
企業殿持込																					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0124
				2018/10/3
調整後保管日時		2018年10月19日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-111	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 11:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	保温材 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/19 11:20	0.1 m <sup>2</sup>			2
	3	1	ケーブル類 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 11:20	0.1 m <sup>2</sup>			2
	4	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/19 11:20	0.1 m <sup>2</sup>			2
	5	1	金属がら ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/19 11:20	0.1 m <sup>2</sup>			2

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木	02	伐採木(幹・根)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0221

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日	(木)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Sr処理水移送配管移設工事									
	発生場所	蒸留濃縮装置周辺及びC2エリア			2018/10/3	2018/10/3	2018/10/3				
	作業主管G	処理設備グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/8/1	測定者		測定器名	F1-ICWBL-5	管理番号	F1-ICWBL-5			
G	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	A	0.8 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	保温材	B	06	D	A	8 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	難燃シート類	C	02	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	4	難燃物その他	C	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
5						m <sup>2</sup>					
メ モ	注:α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0126
				2018/10/3
調整後保管日時		2018年10月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/10/18 10:35	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0033

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 通信機械室不要設備撤去								
	発生場所	GJ-15、GM-20、GN-25						2018/10/4	2018/10/4	
	作業主管G	通信システムグループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/9/21	測定者			測定器名	サーベーター	管理番号	F1-ICWBL-94	
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	金属ガラ	B	01	D	A	0.3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3	ケーブル類	B	08	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0127
				2018/10/4
調整後保管日時		2018年10月17日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 10:55	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	機器類・制御盤類 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 10:55	0.2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ケーブル類 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 10:55	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月17日	(水)	12:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G1タンク盛土上			2018/10/4	2018/10/4	2018/10/4				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/10/3	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター				
	管理番号	F1-ICWBL-70									
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	ゴム	C	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	コルゲート管 金属	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	金属ガラ	B	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0140
				2018/10/4
調整後保管日時		2018年10月17日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-111	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 12:00	2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 12:00	3 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日	(木)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1タンク盛土上			2018/10/4	2018/10/4	2018/10/4			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/3	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	FI-ICWBL-70		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	木材	A	03	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
巡回回収場所: GK-30南										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0141
				2018/10/4
調整後保管日時		2018年10月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	FI-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/18 8:50	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1タンク盛土上			2018/10/4	2018/10/4	2018/10/4			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/3	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	FI-ICWBL-70		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ゴム	C	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	コルゲート管 金属	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	金属ガラ	B	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0142
				2018/10/4
調整後保管日時		2018年10月19日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-15B	
2		ICWBL	F1-ICWBL-111	
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 12:00	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	コルゲート管 金属②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/19 11:35	1 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0162

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	既設ALPS 吸着塔15C、16Cスクリーン修理										
	発生場所	既設MRRS						2018/10/5	2018/10/5	2018/10/5		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/9/26		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-304F1-ICWBL-41	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	50	mSv/h
	2	可燃物(ポリ・ビニール類)	A	02	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	50	mSv/h
	3	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	50	mSv/h
4	難燃物(難燃物その他)	C	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	50	mSv/h	
5						m <sup>2</sup>						
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0145
				2018/10/5
調整後保管日時		2018年10月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(No.ZK-01433)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2018/10/18 8:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-01433	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ	上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履歴			
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0100

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	サイトバンク送風機復旧工事									
	発生場所	サイトバンク建屋2FL 外気処理設備室			2018/10/5	2018/10/5	2018/10/5				
	作業主管G	処理設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/10/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-141			
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	プレフィルタ	B	10	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2	中性能フィルタ・皮手袋	A	04	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	3	送風機交換部品(金属ガラ)	B	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.015 mSv/h
	4	床ゴミ(スラッジ)	B	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.15 mSv/h
5	キムタオル	A	01	W	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.06 mSv/h	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0146
				2018/10/5
調整後保管日時		2018年10月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プレフィルタ	5 μSv/h	40 μSv/h	90 μSv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	1 m <sup>2</sup>		ZK-01640	1
	2	1	中性能フィルタ・皮手袋	5 μSv/h	70 μSv/h	150 μSv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	3 m <sup>2</sup>		ZK-01411	1
	3	1	送風機交換部品(金属ガラ)	5 μSv/h	30 μSv/h	40 μSv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	1 m <sup>2</sup>		ZK-01640	1
	4	1	床ゴミ(スラッジ)	5 μSv/h	50 μSv/h	150 μSv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	1 m <sup>2</sup>		ZK-01640	1
	5	1	キムタオル	5 μSv/h	20 μSv/h	100 μSv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	0.3 m <sup>2</sup>		ZK-01411	1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										
	6	アノラック	A	02	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.03	mSv/h
	7	ゴムパッキン	C	01	D	A	0.1	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.015	mSv/h
	8	フェルトパッキン	B	07	D	A	0.1	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.015	mSv/h
	9	難燃シート	C	02	D	A	0.05	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.02	mSv/h
	10	ケーブル	B	08	D	A	0.1	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.01	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	10	—	0146

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	アノラック	5	$\mu$ Sv/h	20	$\mu$ Sv/h	70	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	0.1	m <sup>2</sup>		ZK-01411	1
	7	1	ゴムパッキン	5	$\mu$ Sv/h	20	$\mu$ Sv/h	70	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	0.1	m <sup>2</sup>		ZK-01411	1
	8	1	フェルトパッキン	5	$\mu$ Sv/h	20	$\mu$ Sv/h	70	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	0.1	m <sup>2</sup>		ZK-01640	1
	9	1	難燃シート	5	$\mu$ Sv/h	20	$\mu$ Sv/h	35	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	0.05	m <sup>2</sup>		ZK-01411	1
	10	1	ケーブル	5	$\mu$ Sv/h	20	$\mu$ Sv/h	70	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/10/19 10:20	0.1	m <sup>2</sup>		ZK-01640	1
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物		01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	C 難燃物		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			② 状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013103 - 0006

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	魚類防止移動網補修工事								
	発生場所	1F 1~4号機開渠内(東波除堤)						2018/10/9	2018/10/9	2018/10/9
	作業主管G	港湾土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/9/28	測定者			測定器名	TCS-171		管理番号	F1-SC-011
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	漁網	A	04	D	A	4 m <sup>2</sup>	7 μSv/h	7 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0149
				2018/10/9
調整後保管日時		2018年10月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	漁網	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 9:15	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	伐 採 木	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013103 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	魚類防止移動網補修工事								
	発生場所	1F 1～4号機開渠内(東波除堤)				2018/10/9	2018/10/9	2018/10/9		
	作業主管G	港湾土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/28	測定者		測定器名	TGS-171	管理番号	F1-SC-011		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	玉ブイ	A	04	D	A	4 m <sup>2</sup>	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
2	チェーン	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0150
				2018/10/9
調整後保管日時		2018年10月18日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	玉ブイ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/18 9:15	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0070

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	11:30		承認	審査	作成
	作業件名	仮設⑦変圧器盤負荷移設工事							
	発生場所	研修棟西側						2018/10/10	2018/10/10
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/10/5		測定者			測定器名	ICW	
							管理番号	ICW-048ICWBL-061	
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
2	アスファルトガラ	B	09	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0161
				2018/10/10
調整後保管日時		2018年10月17日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	30 μSv/h		エリアC	2018/10/17 11:05	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 11:05	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア					2018/10/10	2018/10/10	2018/10/10	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/9/24	測定者		測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	8 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
メ モ	大型2台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0163
				2018/10/10
調整後保管日時		2018年10月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/10/17 8:45	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア						2018/10/10	2018/10/10	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/9/24	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	不燃物その他	B	10	D	A	2.5 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
2	難燃物その他	C	04	D	A	2.5 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
4tユニット1台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0164
				2018/10/10
調整後保管日時		2018年10月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/18 8:05	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	難燃物その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/18 8:00	3 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	#1ガレキ撤去工事									
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード						2018/10/10	2018/10/10	2018/10/5	
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
G	線量測定年月日	2018/10/4		測定者		測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-97	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物:金属ガラ	B	01	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	不燃物:保温材	B	06	W	B	0.05 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	不燃物:ケーブル類	B	08	W	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
4	不燃物その他:バッテリー	B	10	W	B	0.05 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
5	不燃物その他:防災シート類	B	10	W	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
メモ	1) 瓦礫発生場所: 北西ヤード・中継ヤード 2) 透明袋固形コンガラ防災シート類は透明ビニールに収納につき結露しています。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	10	—	0171
				2018/10/11
調整後保管日時		2018年10月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	不燃物:金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/10/17 10:10	1 m <sup>2</sup>			1
2	1	不燃物:保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/10/17 10:10	0.05 m <sup>2</sup>			1
3	1	不燃物:ケーブル類⑩	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/10/17 10:10	0.1 m <sup>2</sup>			1
4	1	不燃物その他:バッテリー⑥	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/10/17 10:10	0.05 m <sup>2</sup>			1
5	1	不燃物その他:防災シート類②	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/10/17 10:10	2 m <sup>2</sup>			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴			
					A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028		
作 業 主 管 欄	保管希望日時	2018年10月19日		(金)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	H6北,H5B,G6、G4南タンクエリア						2018/10/10	2018/10/10	2018/10/10		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/9		測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	① ② ③											
	1	6m3コンテナ(2018ZK-01526)			B 01 D B	6 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	2 mSv/h		
	2	6m3コンテナ(2018ZK-01540)			B 01 D B	6 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	2 mSv/h		
3	6m3コンテナ(2018ZK-01517)			B 01 D B	6 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	6 mSv/h			
4	6m3コンテナ(2018ZK-01524)			B 01 D B	6 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	5 mSv/h			
5					m <sup>3</sup>							
メ モ	$\beta + \gamma$ 線量率は廃棄物表面線量を示す											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0172
				2018/10/11
調整後保管日時		2018年10月19日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(2018ZK-01526)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 11:15	6 m <sup>3</sup>			ZK-01526	1
2	1	6m3コンテナ(2018ZK-01540)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 11:15	6 m <sup>3</sup>			ZK-01540	1
3	1	6m3コンテナ(2018ZK-01517)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 11:15	6 m <sup>3</sup>			ZK-01517	1
4	1	6m3コンテナ(2018ZK-01524)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 11:15	6 m <sup>3</sup>			ZK-01524	1
								m <sup>3</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09
②	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
			C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
			② 状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013706 - 0018		
作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 T/B油処理装置設置										
	発生場所	プロセス主建屋 西側ヤード						2018/10/10	2018/10/10	2018/10/10		
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/5	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-074		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	紙・ダンボール			A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無	
2	ウエス			A	01	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	サニーホース			B	05	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	ビニール			A	02	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無	
5	トンパック			A	04	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
巡回回収場所: GK-27												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0173
				2018/10/11
調整後保管日時		2018年10月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		紙・ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
3	1		サニーホース	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	0.5 m <sup>2</sup>			2
4	1		ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
5	1		トンパック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	1.5 m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
②	B	不 燃 物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
③	C	難 燃 物											
④	D	伐 採 木											
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013706 - 0018	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	1F-1~4号機 T/B油処理装置設置											
	発生場所	プロセス主建屋 西側ヤード						2018/10/10	2018/10/10	2018/10/10			
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/10/5		測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-074		
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	
	1	雑草	A	04	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無			
	2	トンパック	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	3	難燃シート	C	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
4	ゴムホース	C	03	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無				
5	エフレックス	C	04	D	A	1.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無				
メ													
モ	巡回回収場所: GK-27												

  

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0174
				2018/10/11
調整後保管日時		2018年10月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

  

線量測定内容											
測定日	2018年10月17日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2		ICWBL	F1-ICWBL-127								
3											
4											

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ + $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	雑草	2	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	0.3 m <sup>2</sup>				1
3	1	難燃シート	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	0.1 m <sup>2</sup>				1
4	1	ゴムホース	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	0.2 m <sup>2</sup>				1
5	1	エフレックス (→H)	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 10:00	1 m <sup>2</sup>				2
											m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

  

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
② 状 態				D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0018

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 T/B油処理装置設置									
	発生場所	プロセス主建屋 西側ヤード					2018/10/10	2018/10/10	2018/10/10		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/5	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-074			
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	鋼材	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	アルミ材	B	10	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	防災シート	B	10	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0175
				2018/10/11
調整後保管日時		2018年10月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/18 9:50	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	アルミ材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/18 9:50	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	防災シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/18 9:50	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	08	—	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4エリア						2018/10/12	2018/10/12		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	ビニール・プラスチック類	A	02	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	ダンボール・ウエス類	A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	可燃物	A	04	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
4	ゴム類	C	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5						m <sup>2</sup>					
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。企業殿持込み 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0178
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月17日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール・プラスチック類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 8:30	0.9 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ダンボール・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 8:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 8:30	1.1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	ゴム類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 8:30	0.5 m <sup>2</sup>			1
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	状態	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		
	④	E	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履歴			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日	(水)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア			2018/10/12	2018/10/12	2018/10/12			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号			
							T-ICWBL-04			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	木材	A 03	D B	3 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	2	難燃ゴミ	C 04	D B	2 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	3				m <sup>3</sup>					
	4				m <sup>3</sup>					
	5				m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。企業殿持込み 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0179
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月17日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 12:00	3 m <sup>3</sup>			1
	2	1	難燃ゴミ(→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 12:00	2 m <sup>3</sup>			2
	2	2	難燃ゴミ	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/17 12:00	0.2 m <sup>3</sup>			2
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月18日	(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G6エリア			2018/10/12	2018/10/12	2018/10/12			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号			
							T-ICWBL-04			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	難燃ゴミ	C	04	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。企業股持込み 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0180
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃ゴミ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/18 8:00	3.6 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
	D	伐 採 木						
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月19日		(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/10/10	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
10tダンプ(5m3分) × 1台 = 5m3 コンクリートガラ搬出いたします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0181
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 8:35	2 m <sup>3</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 9:00	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。								



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013206 - 0011		
作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	空調設備保守点検業務委託										
	発生場所	免震重要棟						2018/10/11	2018/10/10	2018/10/10		
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/4		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICW-362	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	① ② ③											
	1	空調系フィルター	B	10	D	B	4 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	2	保温材	B	06	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
メ モ	3	スラッジ(鉄入り)	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	4					m <sup>2</sup>						
	5					m <sup>2</sup>						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0187
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月18日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	空調系フィルター②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/10/18 9:25	3 m <sup>2</sup>			1
2	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/10/18 9:25	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0011

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日	(木)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	空調設備保守点検業務委託								
	発生場所	免震重要棟			2018/10/11	2018/10/10	2018/10/10			
	作業主管G	建築保全・総括グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/4	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICW-362		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ダクト	B	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2	エアコン、シュレッダー、ホット、清浄器	B	03	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0188
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月18日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダクト ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/18 10:20	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	エアコン、シュレッダー、ホット、清浄器 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/18 10:20	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年10月17日	(水)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	5/6号機サブドレン設備改造工事他1件									
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋			2018/10/12	2018/10/12	2018/10/12				
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
線量測定	線量測定年月日	2018/10/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-55			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ(鋼材他)	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2	足場材	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有	0.02 mSv/h
入 欄	3	コンクリートガラ	B	02	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	$\beta$ 有	0.02 mSv/h
	4	ケーブル類	B	08	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	5	不燃物その他(シリコン容器他)	B	10	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0195
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月17日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	600	$\mu$ Sv/h						
	2	1	足場材	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	600	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/10/17 10:00	3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	コンクリートガラ	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	20	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/10/17 10:00	1 m <sup>2</sup>		ZK-01604	1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ No.2の保管物はシート養生にて保管。

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0001

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	5/6号機サブドレン設備改造工事他1件									
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋						2018/10/12	2018/10/12		
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/1		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号		
								F1-ICWBL-55			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	金属ガラ(鋼材他)	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
2	足場材	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	0.02 mSv/h	
3	コンクリートガラ	B	02	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.02 mSv/h	
4	ケーブル類	B	08	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5	不燃物その他(シリコン容器他)	B	10	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0196
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月18日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	足場材	5 μSv/h	20 μSv/h	230 μSv/h	エリアW1	2018/10/18 8:55	3 m <sup>2</sup>		ZK-01604	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0153

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	【既設】多核種除去設備 共沈タンク(B)除却								
	発生場所	既設MRRS						2018/10/12	2018/10/12	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/10	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-JCW-168F1-JCWB-105		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有 50 mSv/h
	2	可燃物(ポリ・ビニール類)	A	02	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有 50 mSv/h
3	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有 50 mSv/h	
4	難燃物(難燃物その他)	C	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有 50 mSv/h	
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	10	—	0200
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月18日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-JCWB-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(No.ZK-01449)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2018/10/18 11:30	5 m <sup>2</sup>		ZK-01449	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴			
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0005

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日	(水)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事								
	発生場所	1～4号機周辺			2018/10/12	2018/10/10	2018/10/10			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/3	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-360			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m <sup>3</sup>	50 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	10	—	0203
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月17日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/10/17 8:00	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0005

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月17日		(水)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事							
	発生場所	1～4号機周辺						2018/10/12	2018/10/10
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/10/3	測定者			測定器名	ICW		管理番号
							F1-ICW-360		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	金属ガラ	B	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0204
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月17日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/17 10:30	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】					
	発生場所	タンクヤード全域			2018/10/12	2018/10/12	2018/10/12
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/1	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号
							F1-SC-131
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の 有無
							β+γ 線量率
メ モ	1	金属ガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>
	2						m <sup>2</sup>
	3						m <sup>2</sup>
	4						m <sup>2</sup>
	5						m <sup>2</sup>
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0209
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 10:05	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】									
	発生場所	タンクヤード全域			2018/10/12	2018/10/12	2018/10/12				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/1	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号				
							F1-SC-131				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の 有無				
							β + γ 線量率				
メ モ	1	塩化ビニール類	B	05	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	金属ガラ	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	不燃物その他	B	10	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0210
				2018/10/12
調整後保管日時		2018年10月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-127
2		ICW	F1-ICW-042
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/10/19 11:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/19 11:30	0.5 m <sup>2</sup>			2
	3	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/19 11:30	2 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア						2018/10/15	2018/10/15	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/9/25	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	A	13 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	キャスクNo.91 No.96 No.97									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0212
				2018/10/15
調整後保管日時		2018年10月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		6m3コンテナ(No.ZK-01586)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/18 8:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-01586	1
1	2		6m3コンテナ(No.ZK-01441)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/18 8:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-01441	1
2	1		6m3コンテナ(No.ZK-01440)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/18 8:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-01440	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。											

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア						2018/10/15	2018/10/15	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/9/25	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	
							1F-ICWBL-14			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	保管物名	①	②	③						
1	金属ガラ	B	01	D	A	13 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
キヤスクNo.83 No.84 No.80										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0213
				2018/10/15
調整後保管日時		2018年10月18日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(No.ZK-01466)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/18 11:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-01466	1
	1	2	6m3コンテナ(No.ZK-01289)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/18 11:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-01289	1
	2	1	6m3コンテナ(No.ZK-01307)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/18 11:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-01307	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア			2018/10/15	2018/10/15	2018/10/15				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/9/25	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	A	13 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
	2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
メ モ	キヤスクNo.79 No.108 No.109										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0214
				2018/10/15
調整後保管日時		2018年10月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		6m3コンテナ(No.ZK-01465)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 8:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-01465	1
1	2		6m3コンテナ(No.ZK-01636)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 8:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-01636	1
2	1		6m3コンテナ(No.ZK-01638)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 8:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-01638	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。
--------	-------------------------

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/25	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
2	不燃物その他	B	10	D	A	13 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
キヤスクNo.107 No.110 No.101										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0215
				2018/10/15
調整後保管日時		2018年10月19日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(No.ZK-01633)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 11:10	6 m <sup>2</sup>		ZK-01633	1
	2	1	6m3コンテナ(No.ZK-01635)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 11:10	6 m <sup>2</sup>		ZK-01635	1
	2	2	6m3コンテナ(No.ZK-01496)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/10/19 11:10	6 m <sup>2</sup>		ZK-01496	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。
--------	-------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0025

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月18日		(木)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設化工事								
	発生場所	K4タンクエリア東側						2018/10/15	2018/10/15	2018/10/12
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/10/9	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-400	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	フェーシングガラ			① B 02 ② D ③ A	8 m <sup>2</sup>	3.2 μSv/h	4.3 μSv/h	無		
2					m <sup>2</sup>					
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0218
				2018/10/15
調整後保管日時		2018年10月18日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年10月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フェーシングガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/18 12:05	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012903 - 0025		
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月19日		(金)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設化工事										
	発生場所	K4タンクエリア東側						2018/10/15	2018/10/15	2018/10/12		
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/9		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-400	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	フェーシングガラ			B	02	D	A	8 m <sup>2</sup>	3.2 μSv/h	4.3 μSv/h	無
	2								m <sup>2</sup>			
	3								m <sup>2</sup>			
4								m <sup>2</sup>				
5								m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0219
				2018/10/15
調整後保管日時		2018年10月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
1	1	1	フェーシングガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/10/19 11:05	6 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	G4南エリア			2018/10/15	2018/10/15	2018/10/15		
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/11	測定者		測定器名	βγ用電離箱			
					管理番号	1F-ICWBL-18			
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ	B 01	D A	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2				m <sup>3</sup>				
	3				m <sup>3</sup>				
	4				m <sup>3</sup>				
メモ	4tユニック車1台								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0223
				2018/10/16
調整後保管日時		2018年10月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/10/19 8:55	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		C	難燃物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月19日	(金)	12:30	承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	G4南エリア			2018/10/15	2018/10/15	2018/10/15
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL		
	元請会社			担当者	TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/11	測定者			測定器名	βγ用電離箱
						管理番号	1F-ICWBL-18
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の 有無
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>
メ モ	2					m <sup>2</sup>	
	3					m <sup>2</sup>	
	4					m <sup>2</sup>	
	5					m <sup>2</sup>	
	4tユニック車1台						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	10	—	0224
				2018/10/16
調整後保管日時		2018年10月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/10/19 11:50	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴				
				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。